グループホームの栄養ケア・マネジメントの実施に向けて

社会福祉法人　恵和
栄養士　本谷　朋子

1. グループホーム概要

社会福祉法人恵和（法人紹介は 68 ページ）のグループホームは横浜市保土ケ谷区今井町を中心に旭区と戸塚区にあり「めぐみ」（共同生活援助事業・共同生活介護事業）が 9 ホーム（定員 43 名）、「やわらぎ」（共同生活介護事業）が 10 ホーム（定員 50 名）となっています。

2. グループホームと栄養士との関わりについて

法人の栄養士２名で入所、通所事業所、ホーム利用者と全般を担当しています。ホーム利用者への栄養支援の必要性を感じながらも、どのように進めたらよいのか悩んでいた時、平成 23 年度障害者総合福祉推進事業「グループホーム・ケアホーム入居者の食生活・栄養支援の在り方に関する調査」へ協力する事になり、調査や定期的な訪問を行う中で必然的にホーム職員や世話人と話す機会が増えました。

しかし、一度調査が終わると訪問する回数が激減した為、改めて仕組みづくりが必要となりました。その中で平成 25 年度より法人で栄養課は「健康管理室」に属し、看護師と同じ部署で仕事をする事になり、利用者の情報が迅速で共有化しやすくなりました。これを機に、健康管理室としてホームに関わる事ができ、会議等へ看護師と共に出席する機会が増えました。

（参考「横浜市内障害者施設の栄養・給食に関する事例集」横浜市健康福祉局障害福祉部障害支援課　平成 26 年 3 月発行）

恵和のグループホームは栄養ケア・マネジメントを実施していませんが、ホーム毎の体重把握と個別支援計画の会議への参加やホームへの訪問、個別栄養相談等の内容を「栄養ケア記録」という書式で個人別に記録しています。

3. 始めるにあたり

栄養ケア・マネジメントについて施設管理者に説明を行い、ホームからは主に下記の意見がありました。

① 栄養や食事が大切なのはわかるが、日々の生活支援で精一杯なので難しいのではないか。
② 協力はしたいが世話人に難しい（専門的な）事はできない。
③ これにより業務量が増えるのは厳しい。(時間的な制約)
④ モデルケースとして始めるのは構わないが栄養士にお任せになってしまう。

まず上記の正直な意見を聞いて感じたのが「栄養ケア・マネジメントが必要な理由」を説明しきれなかった事が最初の失敗だと感じましたが、まずはモデル事例としてホームの中でも特に食事支援の必要な２名に対し、実施する事で了承を得ました。

4. モデル事例

事例①　対応に困難しているケース

Ａさん（女性・62 歳・BMI39・当法人日中事業所利用）

以前より膝の痛みの訴えがあり整形外科を受診。医師からは体重が重すぎるから減量するよう本人に伝える。減量する事で痛みの軽減になる事を看護師、ホーム職員、世話人も本人に説明するが、減量が痛みの軽減になる事は理解されていない様子。

本人の希望は

「ご飯、ジュース、お菓子等もっと食べたい」

「自分のお金なんだから好きに使いたい」

「思うようにできないならホームを出て一人暮らししたい」

（ただ、本人いわく近所に住んで食事は現ホームに食べにくるとの話）

1 週間に清涼飲料水 500ml を 8 本購入し、寝ながら飲む場合あり。

衛生についての概念は低い。

携帯電話を持っており、ホーム事務所等に各種訴えを頻繁に行う。

栄養士からは

「まずゼロカロリーのものに変えてみませんか？」とのアプローチを行うが

「おいしくないので嫌です」と拒否。

相談支援「本人の希望を叶えたい。減量にこだわらなくても…」

医師、看護師、職員、世話人、栄養士「でも現に今、本人が痛いと訴えているけど？」

→以上のように、支援方針が一致しない為、食事支援も停滞中である。

事例②　栄養支援が効果のあったケース
B さん（男性・56 歳・BMI17・COPD・当法人日中事業所利用）

ＣＯＰＤの診断があり医師から禁煙の指示がある。
しかし禁煙に失敗し、たばこの本数も減らす約束をするも失敗する。
保護者や看護師、職員・世話人 a と b も禁煙を勧めるが、
本人「たばこはやめられない。でも病気が悪化するのは嫌だ」
世話人 c「本人が希望しているんだからやめなくてもいいのでは？」との意見がある。
胃痛や下痢の訴えもあるが、本人の意向は変わらない。
栄養士として、前述の 110 ページの 2 に記載した調査時にカルシウム不足が見られ栄養指導を行っていたので継続とした。
ホームでは魚を必ず残している、牛乳を飲まない、と言う以上の２点に注目し、世話人や本人の金銭面の負担なく摂取できる方法を考え、下記を提案した
「骨が嫌だ→骨取り」「生臭い気がする→調理方法の工夫」「牛乳はお腹を壊す→温かいカフェオレを自分で作ってみよう」
そして月に１度夕食時訪問を続ける事で､魚を 9 割以上摂取でき､牛乳も 1 日 200ml～600ml 摂取できるようになりました。

→定期的な訪問により、利用者も世話人も「食べることができ安心した」との言葉があり、現在も継続している。

※モデル事例に取り組むにあたり当初、【24 時間シートの作成】を行う予定でしたが日中事業所への説明不足だった事もあり、今回は行う事ができませんでした。

5. 栄養ケア・マネジメント以前に個別支援計画の作成時、多職種が集まる会議で感じた事

・「グループホームを利用しているのだから」＝施設入所ではないのだから栄養（食事）への介入をためらうように感じた。
・ホームの生活の中で、栄養に関して優先順位は低い（低いと言うよりも他の優先順位や緊急度が高い）
・栄養士、本人、世話人（複数）、担当職員、ヘルパー等で栄養支援への考え方が違い、目標の立て方が難しい。

6. 進める中で分かってきた事

・２年近い関わりの中で世話人やホーム職員との関係性が築け、定期開催の会議は別に個別相談の回数が増えたり、口頭でも報告が増えた。
・「栄養ケア記録」について、ホームの場合は栄養や食事以外の事（例えば、人間関係、日中の様子、所持金の使い方等）を記録した方が流れやなぜこの方法を選択したのかを理解しやすいので、「栄養ケア等記録」とし、食行動に関係あると思われる内容もあえて記載する事で、振り返りや計画を立てやすい。資料①
・ホーム毎での取り組みや対応が有効であると感じる。（個人またはグループホーム全体ではなく、Ａホーム、Ｂホーム、Ｃホーム…という単位）　　資料②
・スクリーニングとアセスメントの実施は可能である
　→現状の関わりの中で進めることが出来る
・栄養ケア計画について
　→実施において、現場との温度差が入所以上に大きい
　利用者自身も「自由な暮らし」を希望し、多くの保護者、後見人は「本人の希望通りの生活」を希望する場合が多い為、食事や栄養の課題は表面化しにくい。

7. 今後について

平成 23 年度頃より栄養士（または看護師含めた健康管理室）との関わりが多かったホーム、また別件（この場合は、ホーム側から減量したいので協力してほしい）で、結果のあったホームと担当職員からは小さな事でも気になった事や相談をしてもらえる事が増えました。

しかし逆に言えば、訪問回数が少なかったり直接会う回数の少ないホームにおいては、まだ課題が多く定期的な訪問ができる仕組みを整えることが急務だと感じました。利用者本人へ食事支援も大切ですが、現状の暮らしや背景を理解した上で直接支援する事の多い各ホーム単位で世話人さんへアプローチする事で、現実的な栄養ケア計画が立てられるのではないでしょうか。

また、他法人の日中事業所を利用している利用者については、他法人との情報共有の方法も考えていきたいと思います。

資料①

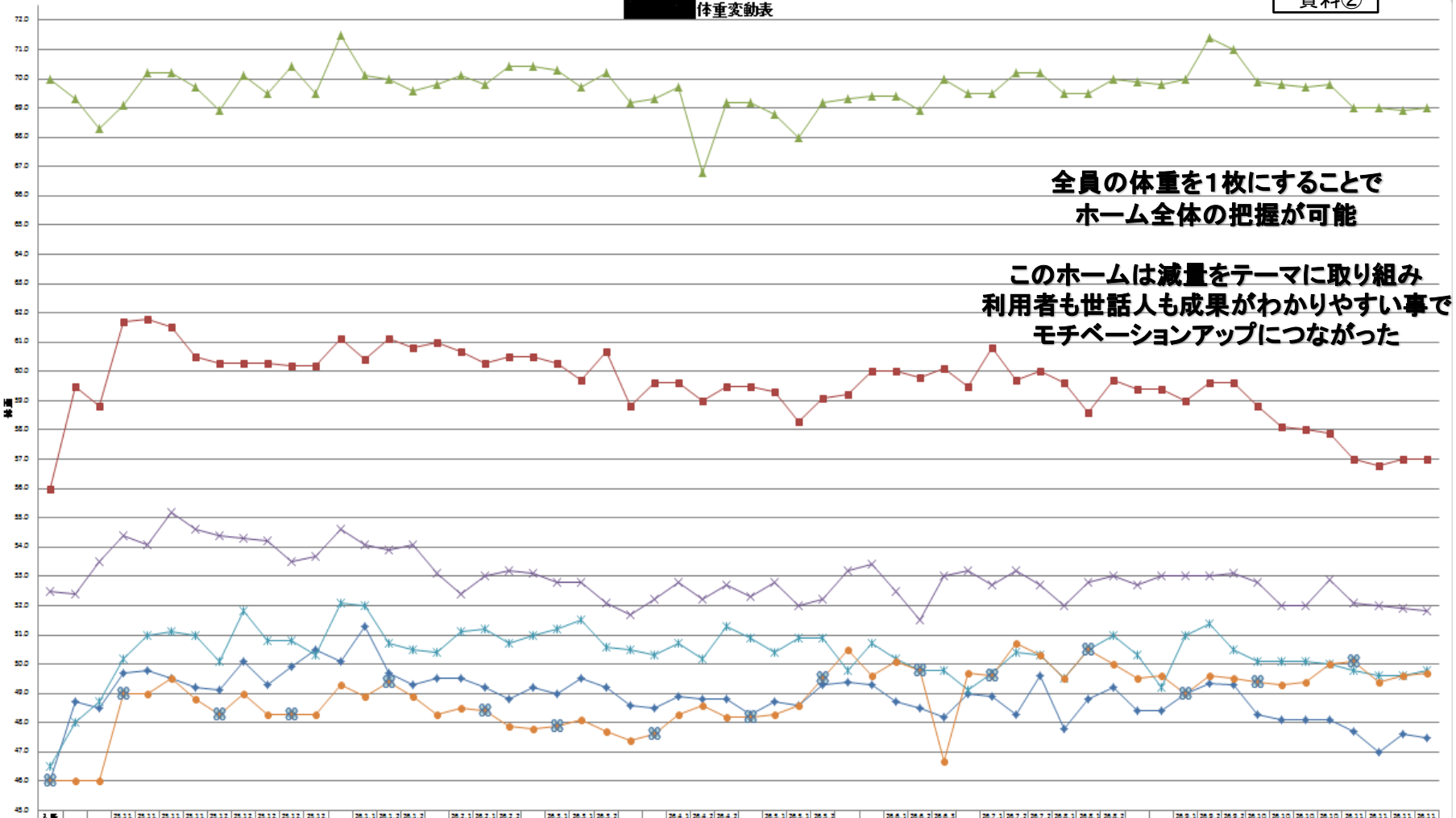
栄養ケア等記録表

寮　■■			利用者名　■■　■	
日　付			記　　録	記入者
年	月	日		
24	10		栄養介入開始（栄養士会）	本谷
26	3	6	（合同カンファレンス記録） 禁煙を継続中（ただし本当に完全禁煙かと言えば疑問が残る） 他の就労は難しい（継続する事が難しい）が本人は新しい仕事を やりたがっている。 食事をしっかりと摂り健康第一である事を目標にする 木曜と土曜の食事を作っているが、内容を記録した方が良いと GH 側に伝える（いずれは中止したい）次回、大腸の内視鏡検査 を実施する	本谷
	5	28	（職員 K よりホームの食生活の件で依頼あり） 食生活について、現状の確認を行う（日中事業所にて、本人と 職員 K、本谷）30 分程、Ａ４の用紙（別紙）使用。 苦手な食材を食べる事について強い拒否は見られない。また カルシウムを摂取を目的とした牛乳については「お腹がくだる」 という訴えがある。 カフェオレを提案すると、興味を示していた。 職員 K とは、一度ホーム巡回する事にした。	本谷
	6	12	（ホーム巡回） 中華丼を作っている。調味料類は世話人が事前に小皿に用意し 使えるようになっていた。 世話人より、最近魚を食べているとの報告がある。 本人には「お腹がくだるのは魚のせいではないので安心して 食べて下さい」と伝える。牛乳に関しては、飲んでいるよとの 事でカフェオレを作ってもらった。 インスタントコーヒー山盛り 2 杯、5ｇのスティックシュガーに 湯を注ぎ牛乳を入れていた。 美味しい作り方を教えますねとコーヒーと牛乳が同割になるよう 話す。（100ml は飲めるよう）特に嫌がる様子もなく聞いていた。 世話人もカルシウムの摂取して欲しいとの事で、フルーチェを 提供する工夫をしているとの事でした。 調味料（とうがらし）を味噌汁に入れる回数を聞いたところ 減らしたとの回答があった。理由を聞いたところ「汗が出るから」 こちらからはうどんやそばに入れるのはいいが、毎日とるのは 胃に負担がかかると伝える。お尻が痛くなっちゃうよと話すと 「それは困る」と言っていた。 カフェオレの作り方については作って渡す約束をする）	本谷
	6	27	ホーム会議 魚を残さないように食べる事が出来るようになってきた また牛乳についてもカフェオレにする事で進んで飲んでいる。	本谷
	7	25	ホーム巡回（世話人・I さん） 木曜の夕食作りは継続している（前回はかたやきそば）また土曜 昼も食事作りを行っている（麺類） 提案したカフェオレは作って飲む事ができている（起床時、朝食 後、昼食後の３回）またホームでは魚も食べる事ができている。 味噌汁に入れていた七味は現在 1 日 1 回の使用（本人より）	本谷
	8	19	ホーム会議 日中事業所で某利用者に対し、強いストレスを感じている。 本人の希望だった毎週土曜のお酒（ビール 500ml）はとても喜ん でおり、息抜きになっている、カフェオレも継続する事ができて いる。	本谷
	9	2	ホーム巡回（世話人・W さん） 本人から「かぼちゃ、さつまいもは絶対にいやだ」との話があるが、「他が食べれているなら問題ないでしょう」と答えると安心した表情をしている。 カフェオレの件は冷蔵庫の牛乳を見せてくれ、毎日 3 回飲んでいる事を報告してくれる。 さんからは「前と比べると残す事は少なくなった」との事。 「逆にやっぱり食べない物はありますか・」と聞くと、煮魚や生	本谷

			臭さが残る魚は苦手な様子との報告がある。 体重は 47ｋｇ。	
	9	4	職員Ｋへ巡回報告（電話） 一通りの巡回は行ったが月に 1 度の巡回を継続したい事を伝える。→日程は都度調整	本谷
	10	30	ホーム会議 調理中に包丁を落とす事があった（木曜夕） 飲酒（日本酒、熱燗）の希望あり。8 月からの週１のビール 500ｍｌは引き続き実施しており本人も喜んでいる 日本酒については月に 2 回位、試しに行ってみる タバコは 10 本/日→禁煙についての話し合いを行いたい （日中事業所でトラブル）	本谷
	10			
	12	25	ホーム会議 ホームでの食事（魚）はほぼ全量摂取できている カフェオレ（牛乳）も好んで一日牛乳を 600ml 摂取している	本谷
	2	12	ホーム巡回（世話人休みの為、本人より聞き取りを実施） 日中事業所では食事を完食している。ホームでも残す事がなくなった。（夕食の鰆の野菜あんかけも完食している） 日中事業所にて缶コーヒー（微糖）２本飲んでいる	本谷
		17	ホーム会議 ここ最近疲れを訴える事が多い（やまぼうしから帰宅後夕食まで寝ている） 肺について Dr.聴診に問題ない 食事状況は特に変化なし	本谷
		20	●●●病院受診	

資料②

[redacted]体重変動表



	入居時	25.1.1	25.4.1	25.11.6	25.11.13	25.11.18	25.11.20	25.12.2	25.12.9	25.12.16	25.12.23	25.12.30	26.1.6	26.1.13	26.1.20	26.1.27	26.2.3	26.2.10	26.2.17	26.2.24	26.3.3	26.3.10	26.3.18	26.3.24	26.4.2	26.4.7	26.4.14	26.4.21	26.4.28	26.5.5	26.5.12	26.5.19	26.5.26	26.6.2	26.6.9	26.6.16	26.6.23	26.6.30	26.7.7	26.7.14	26.7.21	26.7.28	26.8.11	26.8.18	26.8.25	26.9.1	26.9.8	26.9.16	26.9.22	26.9.29	26.10.6	26.10.13	26.10.20	26.10.27	26.11.3	26.11.10	26.11.17	26.11.24
	46.0	46.7	46.5	49.7	49.8	49.5	49.2	49.1	50.1	49.5	49.9	50.5	50.1	51.3	49.7	49.5	49.5	49.5	49.2	48.8	49.2	49.0	49.5	49.2	48.6	48.5	48.9	48.8	48.8	48.5	48.7	48.6	49.5	49.4	49.5	48.7	48.5	48.2	49.0	48.9	48.5	49.6	47.8	48.8	49.2	48.4	48.4	49.0	49.4	49.5	48.5	48.1	48.1	48.1	47.7	47.0	47.8	47.5
A	56.0	59.5	58.8	61.7	61.8	61.5	60.5	60.3	60.3	60.3	60.2	60.2	61.1	60.4	61.1	60.8	61.0	60.7	60.5	60.5	60.5	60.5	59.7	60.7	58.8	59.6	59.6	59.0	59.5	59.5	59.3	58.3	59.1	59.2	60.0	60.0	59.8	60.1	59.5	60.8	59.7	60.0	59.6	58.6	59.7	59.4	59.4	59.0	59.6	59.6	58.8	58.1	58.0	57.9	57.0	56.8	57.0	57.0
B	70.0	69.3	68.5	69.1	70.2	70.2	69.7	68.9	70.1	69.5	70.4	69.5	71.5	70.1	70.0	69.6	69.8	70.1	69.8	70.4	70.4	70.3	69.7	70.2	69.2	69.3	69.7	68.8	69.2	69.2	68.8	68.0	69.2	69.3	69.4	69.4	68.9	70.0	69.5	69.5	70.2	70.2	69.5	69.3	70.0	69.9	69.8	70.0	71.4	71.0	69.9	69.8	69.7	69.8	69.0	69.0	68.9	69.0
C	52.5	52.4	53.3	54.4	54.1	55.2	54.6	54.4	54.3	54.2	53.5	53.7	54.6	54.1	53.9	54.1	53.1	52.4	53.0	53.2	53.1	52.8	52.8	53.1	51.7	52.2	52.8	52.2	52.7	53.3	52.8	52.0	53.2	53.2	53.4	52.5	51.5	53.0	53.2	52.7	53.2	52.7	52.0	52.8	53.0	52.7	53.0	53.0	53.0	53.1	52.8	52.0	52.0	52.9	52.1	52.0	51.9	51.8
D	48.5	48.0	48.7	50.2	51.0	51.1	51.0	50.1	51.8	50.8	50.8	50.3	53.1	52.0	50.7	50.5	50.4	51.1	51.2	50.7	51.0	51.2	51.5	50.6	50.5	50.5	50.7	50.2	51.3	50.9	50.4	50.9	50.9	49.8	50.7	50.2	49.8	49.8	49.1	49.7	50.4	50.3	49.5	50.5	51.0	50.3	49.2	51.0	51.4	50.5	50.1	50.1	50.1	50.0	49.8	49.8	49.8	49.8
E	46.0	46.0	46.0	49.0	49.0	49.5	48.8	48.3	49.0	48.3	48.3	48.3	49.3	48.9	49.4	48.9	48.3	48.5	48.4	47.9	47.8	47.9	48.1	47.7	47.4	47.6	48.3	48.6	48.2	48.2	48.3	48.6	49.5	50.3	49.8	50.1	49.8	48.7	49.7	49.6	50.7	50.3	49.5	50.3	50.0	49.5	49.6	49.0	49.6	49.5	49.4	49.3	49.4	50.0	50.1	49.4	49.8	49.7
F																																																											

毎月提出してもらう体重表を入力しグラフ化